

南無ちゃんのブログ 2016年7月

目次

7月1日(金)	シマヘビのハンティングを目撃.....	2
7月2日(土)	やっと粒間引き(一巡目)完了.....	2
7月3日(日)	鮎竿のハカマを製作.....	3
7月4日(月)	久々に見るJARL NEWS.....	4
7月5日(火)	暑い季節の過ごし方.....	4
7月6日(水)	鮎の飼育水槽を点検.....	5
7月7日(木)	防除⑧と袋掛け.....	5
7月8日(金)	やっとピオーネの仕上げ間引きが完了.....	6
7月9日(土)	ピオーネの袋掛け.....	7
7月10日(日)	ApacheOpenOffice4で封筒に宛名を印刷する.....	7
7月12日(火)	早速猿にやられました.....	9
7月13日(水)	カシオ pomrie スタンプメーカー.....	9
7月14日(木)	防除を済ませて鮎釣りに GO!.....	10
7月15日(金)	イチジクの手.....	11
7月16日(土)	草刈・鮎釣り・袋掛け.....	11
7月17日(日)	シャインマスカットの袋掛けと夕涼み会.....	12
7月18日(月)	海の日だけど川に Go!.....	12
7月19日(火)	今日も久世で鮎釣り.....	13
7月20日(水)	草刈り・シャワー・昼寝・枝打ち・灌水.....	13
7月21日(木)	日野川(岸本)で鮎釣り.....	14
7月22日(金)	防除⑨と桃の収穫.....	14
7月23日(土)	高津川で26.5cmの鮎.....	15
7月24日(日)	今日のピオーネ.....	16
7月25日(月)	大変です。ブドウの葉っぱが病気です。.....	16
7月26日(火)	緊急防除.....	17
7月27日(水)	ブドウの作業を終えて九頭竜川に GO!.....	17
7月28日(木)	九頭竜川遠征初日.....	18
7月29日(金)	九頭竜川遠征二日目.....	19
7月30日(土)	九頭竜川遠征三日目.....	19
7月31日(日)	九頭竜川遠征四日目.....	19

7月1日(金) シマヘビのハンティングを目撃

今日ブドウ園で作業をしている時に、シマヘビが殿様ガエルをハンティングしている様子を目撃しました。シマヘビは殿様ガエルを捕まえるときに、直接口でガブリとするのではなくて、長い胴体で殿様ガエルに巻きついて締め上げるのです。殿様ガエルの体力が消耗したのを見計らって、ガブリとカエルの頭から飲み込みました。顎を外したのでしょうか、よくもまああんな大きなものを飲み込むことができること・・・！

飲み込んでしまうと、文字通りペロリと舌をヒラヒラさせて、何事もなかったかのように山に引き上げていったのでした。



7月2日(土) やっと粒間引き(一巡目)完了

6月17日から始めた粒間引きがやっと一回り終わりました。ピオーネに8日間、シャインマスカットに3日間要しました。

これから仕上げ間引きをして、袋掛けが終われば収穫を待つだけです。昨年の記録を見るとピオーネは7月8日、シャインマスカットは7月16日に袋掛けを完了したようです。今年は量が多いのでもう少しかかるかもしれません。それに、一巡目の時に成長が遅い房は粒間引きを簡単に済ませているので、仕上げ間引き(二巡目)のときにきっちり摘粒しなければなりません。

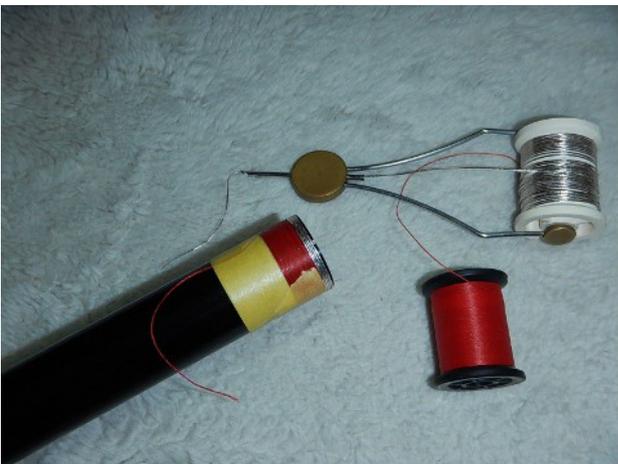


7月3日(日) 鮎竿のハカマを製作

九頭竜川などの大河川に行くと風に悩まされることがあります。そんな時に短い竿があると便利です。私は7.2mの安物の竿を持っていますが、所詮支流用なので急瀬や大物が掛かった時には難儀をします。8m位の急瀬仕様の鮎竿が欲しいところです。

実は先日、ネットショップで購入ボタンを押す手前で思い留まりました。鮎友のUさんから折れた元竿をもらったのがあるので、それでハカマを作ることにしました。昔は長い鮎竿を短く使うためのアタッチメントとして「ハカマ」なるものが販売されていたそうなのですが、私が鮎釣りを始めた頃には既に販売されていませんでした。なので、ハカマなるものを使ったことはないのです。

使用経験はなくても、だめもとで製作にチャレンジしました。



- 1)折れた元竿を綺麗にカットしました。断面が三角形の精密やすりがあったので、それを使って竿をすこしづつ回転させながら何度も擦って切断しました。
- 2)断面を紙やすりで擦って綺麗に仕上げました。
- 3)玉口を補強するために、赤いスレッド(糸)を巻いて、見栄えを良くするために端には銀色のスレッドを巻きました。
- 4)玉口に巻いたスレッドの上に、エポキシ樹脂(二液接着剤)を塗りました。
- 5)玉口の内側に隙間があるので、シリコン樹脂(コーキング材)で埋めました。(これは蛇足だったかもしれません。それ程の隙間ではないので、竿にビニールテープでも巻けば十分ではないかと思えます。)

製作したハカマをシマノ・トリプルフォース・急瀬(8本継)の7番に挿して、7.7mの竿として使う予定です。さて、実釣での成果や使い心地はどんなものでしょうか？

7月4日(月) 久々に見るJARL NEWS

今日 JARL NEWS (2016 夏号) が届きました。此処のところ、Life Member の特権を利用して QSL 転送料だけを納入していたので JARL NEWS が来なくなっていました。

今年は、JARL の個人賛助会員として会費を一口分納付したので、JARL NEWS が送付されたのです。個人賛助会員のメリットはそれだけではありません。未だ頂いていませんが、JARL 会員名簿も頂ける筈ですし、コールサインと氏名が JARL のホームページ、JARL NEWS や JARL 会員名簿に記載されるという特典があります。誰でも個人賛助会員になることができます。貴方もどうですか？



今朝ブドウ園に行くと、電柵から約 1 秒周期で「パチッ」という音がしていたので、音の出ているところを確かめると、写真のようにアマガエルが電気ショックで心肺停止状態になっていました。やはり、これが原因だったらしく、除去すると音はしなくなりました。

7月5日(火) 暑い季節の過ごし方

二三日前から本格的な夏になったように思います。昼間は兎に角暑いので、お日様の下で農作業なんてとてもできません。直ぐに汗びっしょりになってしまいます。こんな季節には、鮎釣りに行って川の中で涼みたいものです。とは言え、まだまだブドウの世話が忙しいので、そういうわけにもいきません。

こんな時は、なるべく朝早くから農作業をして、昼前に切り上げます。午後は、昼寝をするか、パソコンでもいじりながらマッタリと過ごします。4 時頃になればブドウ園の一部は影になるので、作業を再開します。まだ日が長いので、7 時頃までは十分作業できます。



7月6日(水) 鮎の飼育水槽を点検

昨年製作した鮎の飼育水槽を点検しました。最初は循環ポンプにゴミが詰まっていたようで、うまく動作しませんでした。ポンプを分解修理したところ何とか動作するようになりました。去年は鮎が水槽から飛び跳ねて脱走したものの土の上でお亡くなりになるというケースが散見されたので、今年は水槽の上にバーベキュー用の網を置いて脱走を防止しようとしています。BBQ用網を2枚使って作りました。針金で留めておけば、丁番のような役割を果たし、スムーズに開閉できます。



朝2時程、粒間引きして、7時前には公民館で胃がん・大腸がんなどの集団検診に参加しました。検診が終わると未だ9時前だったので12時まで粒間引きをしました。

昼食後は、鮎の飼育槽を組立てたり買い物に行ったりして過ごしました。午後4時から再びブドウの粒間引きを再開しました。

7月7日(木) 防除⑧と袋掛け

明日から天気が崩れそうな天気予報だったので、まだ摘粒作業中ですが防除⑧を行いました。ただし、シャインマスカットはピオーネよりも1週間程生長が遅く、全く摘粒できていないこともあり、防除⑧は後日実施することにしました。

ピオーネだけですが、200リットルの薬液(アフエットF、ランマンF、スカウトF共に2000倍・・・各

100ml)を作成して散布しました。丁度使い切る位の適度な量でしたので、シャインマスカットの時には後 50リットルも作成すれば足りるでしょう。

防除作業は 8 時頃には終了しました。今日は晴れの予報だったので、鮎釣りに行きたいなあと思って日野川のオトリ屋さんに電話してみたところ、芳しくないということでしたので、心置きなく農作業に専念できました。

防除⑧を終えたので、摘粒しながら袋掛をしました。



7月8日(金) やっとピオーネの仕上げ間引きが完了

今朝目覚めると霧雨のような雨だったので、朝飯をサクッと食べたらず直ぐにブドウ園に行って仕上げ間引きを始めました。すると、30分も経たない内に大粒の雨が降りだして土砂降りの様相になってきました。ブドウ棚の下に居る内は濡れないのですが、もう帰るに帰れない状態です。仕方なしに黙々と作業を続けていると、9時頃には小降りになったので家に引き上げました。

短時間に相当な降水量だったためか、圃場は水浸しになりました。



少し濡れたので着替えして、パソコンでブドウの予約販売のための書類を作りました。ダイレクトメールを7月下旬には発送すべく準備を進めています。去年はゆうパックの送り状を全部手書きで書きましたが、今年はゆうプリRというソフトを使ってプリンタで印刷しようと考えています。ゆうプリRの使い方が最初は全然わからなかったのですが、色々やってみているうちに何とか使えるようなレベルになりました。

午後2時頃までパソコンで作業していましたが、雨が小降りになったようなので、再びブドウ園に

行って仕上げ間引きをしました。努力の甲斐あって、午後5時過ぎには完了しました。雨降りなのに良く働くもんだと我ながら感心するのですが、猛暑日の陽射しよりも雨降りの方がよっぽど、この作業には適してします。雨降りに感謝！でも、そろそろ梅雨が明けてくれるのを願っています。雨が上がってブドウの房が乾けば、早めに袋掛けをしたいと思います。

7月9日(土) ピオーネの袋掛け

今朝目覚めた頃は雨音がしていました。吉備中央町には大雨警報が出ていたようです。雨でもシャインマスカットの粒間引きをするつもりでしたが、次第に雨は弱まり、7時頃には上がりました。2時間程シャインマスカットの粒間引きをした後で、休憩に帰ってから、ピオーネの袋掛けをすることにしました。今日は土曜日で、家内は休みです。袋掛けの手伝いをお願いしたところ快諾していただけたので、一緒に農作業をしました。お陰で作業が捗りました。ついでに、私の作業風景の写真を撮ってもらいました。

腰に下げている「隠し蔵」の紙パックに注目してください。焼酎の紙パック(1.8リットル)を使って、袋掛け用の袋の束を入れるポーチを作りました。袋掛け用袋の束(100枚入り)が丁度入る大きさで、とても重宝しています。製作費はゼロなので、家内が手伝ってくれると聞いて、直ぐに家内用のものも作りました。



7月10日(日) ApacheOpenOffice4で封筒に宛名を印刷する

私はMS WordやExcelの代わりに無料のApacheOpenOffice4を使っています。この度、ブドウ予約販売のDMを出すために色々ネットサーフィンして調べて、擦った揉んだの末にやっと目的を達成することができたので、防備録としてOpenOfficeで封筒に宛名を印刷する方法について記録しておくことにします。

まず、全体の流れについておさらいします。

- 1)封筒に印刷するには、Writerを使います。
- 2)Writerで封筒一枚づつに異なる宛名を印刷するにはBaseを使います。
- 3)Baseにデータを登録するには、一件づつ手入力するか表計算ソフト(Calc)のデータをコピペします。

つまりOpenOfficeに含まれる3つのアプリ(Writer, Base, Calc)を使う必要があります。

以下に各アプリを使う上でのキーポイントについてのみ記します。

1)Calc

一行目に次の項目名を記述する

ID, zip, address, name

2)Base

テーブルを作成する時に、フィールド名に zip, address, name をそれぞれ入力する。(この時フィールドタイプは、いずれも VARCHAR にする。)

テーブル名を封筒宛名に設定して「OK」ボタンを押す。

「プライマリーキーがありません・・・作成しますか」と表示されたら「はい」をクリックするとフィールド名 ID が作成される。

Calc で作成したデータを開いて、一行目を含め全部のデータをクリップボードにコピーする。

Base のテーブル欄の封筒宛名にマウスカーソルを合わせ、右クリックして「貼り付け」を選択するとデータがコピペされる。

ファイルにデータを保存して Base を終了する。

3)Writer

「書式」メニューから「ページ」を選択する。

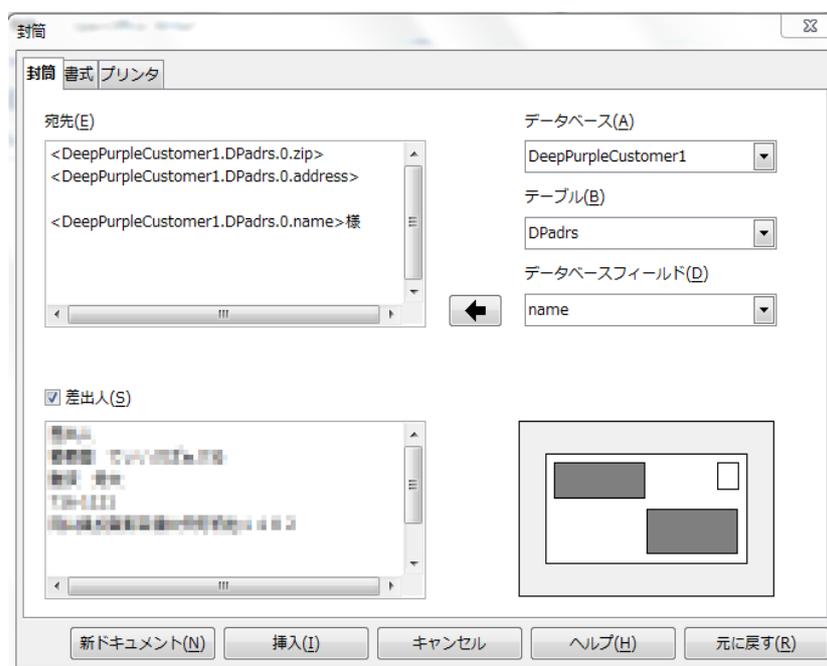
実際の封筒の寸法を入力する。

「挿入」メニューから「封筒」を選択する。

封筒画面でデータベース、テーブル、データベースフィールドを適切に選択し、←をクリックすれば宛先欄にデータベースフィールドが転記される。

必要に応じて「差出人」にチェックを入れて差出人のデータを入力する。

「ファイル」メニューから「印刷」を選択すると、「ドキュメントにアドレスデータベースのフィールドが含まれています・・・」と表示されるので「はい」を選択する。



今日は朝から町内会の共同作業の草刈でした。10時半頃までやって汗びっしょりになったので、帰宅してシャワーを浴びて一休み。午後1時からお宮の掃除と総会で、やっと4時前に解散になりました。

丁度涼しくなった頃だったので、家内と一緒にブドウ園に行って6時半頃まで袋掛けをしました。あと2本分、袋掛けが残りました。

7月12日(火) 早速猿にやられました

一昨日袋掛けしたばかりのピオーネが、昨日早速猿にやられました。昨夕、袋掛けし忘れた箇所はないかと点検していたところ、一昨日掛けたばかりの袋に入ったブドウの房が7房散乱していました。まだ果実が青いので、食べた様子はありませんでしたが、猿の仕業に違いありません。去年も猿にやられましたが、8月になってからでしたので今年は何と早いことでしょう。昨日はショックで酔いが早く回ってしまい、ブログを更新することさえできずバタンキューでした。

お陰で今朝早く目が覚めて、善後策をあれこれと考えました。

野生動物は嗅覚が敏感なので、ブドウの香りに誘われて果実を食べにやってくるという説を信じていましたが、今回の出来事から、猿は臭いではなく、白い袋に誘われてやって来たのだと考えられます。猿は外からブドウ園の様子を眺めているようです。人間だって大半の情報は目から入ってくるのです。

それならば、ブドウ園の外から見えなくするというのも手だと思いました。野ウサギやタヌキ、アナグマなどの小動物はワイヤーメッシュを潜り抜けてしまうので、ワイヤーメッシュに波トタン板を併設すれば、これらの小動物への対策として有効です。(以前親父が猪対策のために使っていた古い錆びた波トタンがあるので材料費は只)

小動物の侵入路はブドウ園の東側が大半だと考えられるので、波トタンは東側だけに設置しました。恐らく猿も東側の山からブドウ園の棚に白い袋が掛けられているのを見たに違いありません。

猿の侵入経路は目撃していないので不明なのですが、恐らく樹からの飛び込みだと考えられるので、東側の隣地にあるネズミサシと合歡の木の枝打ちをしました。暑い日に山仕事をして汗だくになってしまいました。これで、暫く様子を見ることにします。



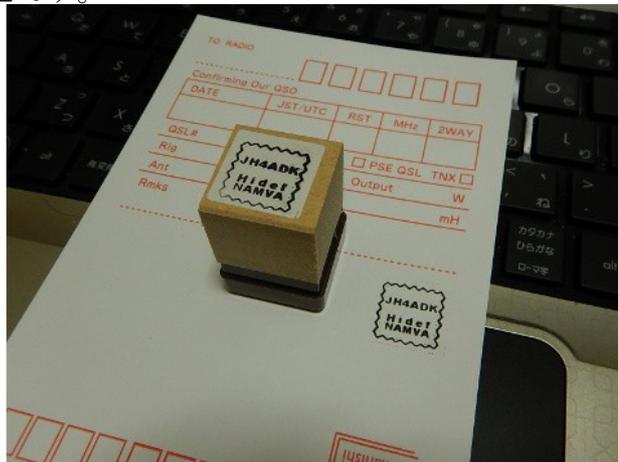
7月13日(水) カシオ pomrie スタンプメーカー

ブドウの箱に品種や生産者を記入する代わりにスタンプを押そうと思って、簡単にゴム印を作るものはないかなあと思って探したところ、カシオの pomrie という製品を見つけました。テキストは勿論、写真からでもゴム印が簡単にできるというのですから楽しそうです。

試しに、QSLカードに使うことを意図したゴム印を作ってみました。凄く簡単にできました。おまけ

に、スタンプ台が不要で所謂シャチハタのように使えるのが便利です。

午前中は雨がシトシトと降っていたので、ゴム印を作ったり、鮎の仕掛けを作ったりして過ごしました。雨は午後2時頃には上がったので、ブドウ園に行って草刈をしました。明日は晴れの予報なので、早朝からシャインマスカットの防除をする予定です。



7月14日(木) 防除を済ませて鮎釣りに GO!

早朝の無風状態の内に防除作業をしました。今回はシャインマスカットだけ残っていたので、アフェット、ランマン、スカウトを各 25ml ずつ 2000 倍の薬液を作りました。動力噴霧器のホース (100m) の中に 15 リットル以上の薬液が残っているので十分足りました。

防除作業を終えると汗ダクになりました。鮎釣りにいきたなあと、日野川のオトリ屋さんに電話しましたが、あまり釣れていないとのこと。久世のオトリ屋さんに電話すると、ボチボチ掛かり始めたという甘いお言葉をに誘われて、迷わず久世に直行しました。

久世に行ってみると水かさが増していたので勝山に行きました。

橋の上から見たり、新庄川に行ってみましたが、魚影は確認できませんでした。見えないので釣れるかどうか不安でしたが、勝山には見える範囲に 3 名の釣り人の姿がありました。釣れても釣れなくても、暑い日は川の中で涼むのが一番です。



7月15日(金) イチジクの手

朝一番はシャインマスカットの棚の下の草刈です。シャインマスカットは袋掛けの作業が残っていますが、草刈後のクリアな圃場で袋掛けができそうです

午後から、イチジクの手(スキーストックのように、各結果枝に篠竹の杖)をつけてあげました。これで風が吹いても大丈夫です。今年はブドウの世話が忙しかったので、イチジクの芽かき作業を怠ったために、結果枝が沢山でています。どんな実がつくことやら・・・?



7月16日(土) 草刈・鮎釣り・袋掛け

午前7時頃からブドウ園で袋掛けの終わったピオーネの棚の下の草刈をしました。その後、ブイブイ退治をしていたら10時前になってしまいましたが、暑くなりそうな気配だったので、農作業を切り上げて鮎釣りに行きました。

前回勝山で釣った鮎を飼っていたので、オトリとして持って行きました。今日は新庄川に入ってみました。一昨日よりも水は少なくなっていました。11時半頃から3時半頃までにやっと4尾の釣果でした。寂しい釣果ですが、川に浸かって暑い夏の日中を楽しく過ごせたと思えばなんのそのです。



5時前に帰宅して、再びブドウ園にいてシャインマスカットの袋掛けをしました。農作業は夕方涼しくなったらすれば良いのです。勝山(旭川)まで約50分の道程です。もう少し近場で釣ればもっと良いのですが・・・

7月17日(日) シャインマスカットの袋掛けと夕涼み会

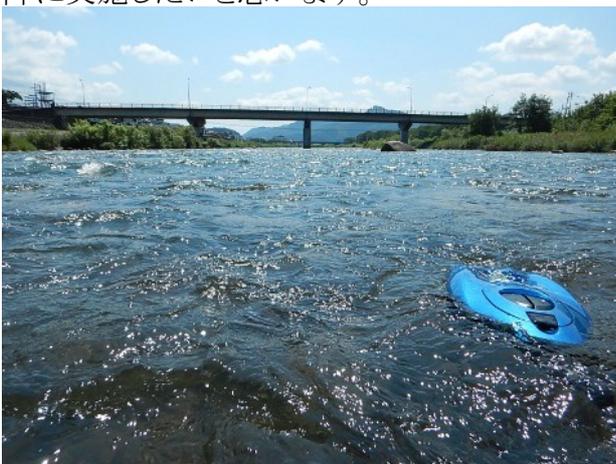


7月18日(月) 海の日だけど川にGo!

今日は国民の祝日「海の日」だそうです。今年から「山の日」というのもできたようです。でも残念ながら「川の日」というのはありません。夏は川！と決めている南無ちゃんにとっては、海の日＝川にGo!!!です。

今日は朝6時半頃からブドウ園で草刈をして、8時頃には燃料切れで終了しました。今日は久世に行ってみました。水量は1週間程前に比べてかなり減っていて、平水なみでした。午前中は国道の橋の上下をやって7尾、午後から中川橋の下流で7尾という釣果でした。サイズは勝山よりもでかくて20cm前後でした。やっとツ抜けして、鮎釣りらしくなってきましたが、3時頃には切り上げて、帰って農作業をしました。

午後5時ごろからブドウ園でシャインマスカットの袋掛けをして、今日で完了しました。袋掛けが完了したので、いつでも防除が可能になりました。防除は前回7月14日だったので、7月21日以降に実施したいと思います。



7月19日(火) 今日も久世で鮎釣り

今日も朝7時前から草刈を開始して、8時過ぎに燃料切れで終了。昨日確保したオトリを持って、昨日と同じく久世に行きました。

昨日梅雨明けしたということなので、暑さもひとしおです。こんな日は川に入って涼むのが一番です。中川橋の下流の岩盤瀬に初めて行きました。岩盤の割には根掛りすることもあり、外しに行こうと思っても足元がツルツルなので転べば流されてしまいます。なかなか凄いところです。神通川上流の岩盤瀬や日高川ダム上の岩盤瀬を思い出しました。このところ神通川にも日高川にも行ってないなあ・・・

ポツポツとオトリをつなぎながら、いずみ橋の見える瀬まで行ってみました。釣果としては昨日と同じく14尾でしたが、今日はサイズがバラバラで、小さいのは12cmくらいで大きいのは22cmでした。1週間程前に追加放流した鮎がかかり始めたようです。

3時頃から風が出始めたので、いい加減で止めとけば良かったのですが、シャインマスカットの袋掛けも完了したことだし、特に急いでする作業はないので、5時頃まで川に居ました。風のせいなのか疲れて集中力が切れたのか、3尾連続でバラシてしまい、この間殆ど釣果なしでした。5時半頃帰路についたところ、右折して落合経由で帰ろうと思っていましたが渋滞していて右折出来なかったため、左折して勝山・月田経由で帰りました。遅くとも4時には川から上がった方がいいみたいです。



7月20日(水) 草刈り・シャワー・昼寝・枝打ち・灌水

今朝はブドウ園のワイヤーメッシュの外側の山際の草刈をしました。ここだけで刈払い機の燃料が終了したのですが、今日は鮎釣りはお休みにしたので、もう一頑張りして新アンテナファームの草刈をしました。つる性の植物が繁茂していて、除草剤さえ効かずに手を焼いています。日頃はやらないダブルヘッダーをこなして汗だくになったので、帰宅して直ぐにシャワーを浴びました。昼食の後はまったりを昼寝。鮎釣りというのも結構くたびれるので、一日おき位のペースが良いみたいです。暑い夏でも、我が家は標高450mなので、窓を開ければ涼しい風が通って気持ちよく休むことができます。

日が落ち始めた4時頃から再びブドウ園に出動して、猿の飛び込み対策として隣地の樹の枝を切りました。その後、最後に10分ほど灌水しました。こうしてやると、打ち水をした時のように気化熱を奪って涼しくなるんじゃないかと思ってやっています。



7月21日(木) 日野川(岸本)で鮎釣り

シマノの大会以来久々に日野川(岸本)に行きました。日野川に釣行するのは今日が6日目です。最初に入ったポイントではバラシ1回のみで、おとりが弱らないうちに見切りをつけて場所替えしました。

2回目に入ったポイントは八幡橋下流で、丁度橋の上に伯耆富士(大山)が見えました。おとりが弱かったので、最初は苦労しましたが、慎重に1尾目を掛けてポツポツおとりを?ぐことができました。

今日の釣果は11尾で、最小は10cm、最大は22.5cmでした。岸本は家から片道2時間かかるので、日帰りはちょっと疲れます。



7月22日(金) 防除⑨と桃の収穫

朝7時頃から10時頃までかけて、ブドウの防除⑨をしました。オラクル5000倍、マネージ4000倍、アビオンE1000倍の薬液をまず200リットル調整して、後で50リットル調整して合計250リットルを散布しました。指針では10aあたり400リットルなので、かなりの省農薬です。省農薬率=実際に散布した量/(反当たりの指針の散布量*反数)と定義すると、 $250/(400*2)=0.3125$ つまり指針の30%強の農薬を散布したのみです。

防除作業の後、ブドウ園内に植えている桃のうち「白鳳」を収穫しました。以前から薄々気付いていましたが、夜蛾に挿されていて全滅です。おそらく、未収穫の「おかやま夢白桃」も同じように夜蛾にやられているのでしょうか?!



7月23日(土) 高津川で26.5cmの鮎

今週末は家内の実家に来ています。昼間は家に居ても暑いので、近所の高津川に鮎釣りに出かけました。今年は高津川の年券は買ってないので、日券を購入しての入川です。10時頃から日原の道の駅上流の瀬に入りましたが、噂どおり魚影は薄く、食み跡も見当たらず、跳ぶ鮎も見えません。まあ、暑い日は川の中を散歩しているだけでも涼しいので、鮎が居そうなポイントを丹念に探して歩きました。



道の駅から1km程下流の富田洞門の上流端の下の瀬で17~18cmの鮎がやっと掛かりました。時既に12時半でした。掛けた野鮎を瀬に入れると、入れ掛りで26.5cmの大物がかかりました。

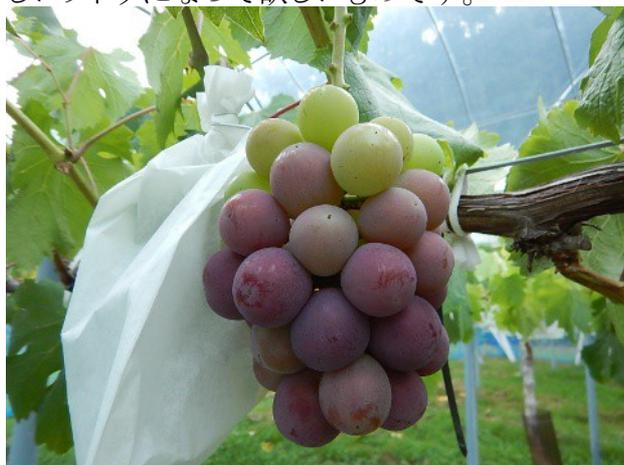
余りにも大きすぎてロスしたら勿体無いのと、6.5号の鼻環はとおしづらかったのもう一度最初の野鮎君に頑張ってもらいました。暫くすると、今度も大物がかかりました。もおっ・・・！オトリサイズが掛かればいいのに・・・と贅沢な悩み。先ほどの鮎より少し小ぶりでしたが24cm以上ありそうで、やっとの思いで鼻環をつけて鮎も疲れたようですが、私も疲れしました。そうこうしているとまた大物です。またまたやっとな鼻環をつけて泳がせました。こうして大物4連荘でしたが、良いことばかりは続きません。大物が根掛りしてしまいました。勿体無い・・・3時を回っていたので、ジエンドにしました。高津川は魚影が薄いようで、釣り人も少なく、大物が残っているようです。今年初めての高津川でしたが、ああ面白かった！

7月24日(日) 今日のピオーネ

家内の実家から帰宅後、ブドウ園に行っていました。幸い猿の侵入した痕跡はありませんでした。そろそろ、九頭竜川に遠征に行きたいので、家内に電気柵の点検方法と灌水の仕方について現地で説明しました。電気柵に異常な時や猿にブドウが荒らされたら遠征を中断せざるを得ませんが、見回りをしてもらえると助かります。

ピオーネは果粒軟化時期を迎え、色付き始めています。粒ごとに色が違うのでマーブルチョコレートのようなのです。

それと、ちょっと気になることがあります。園のあちこちで落葉している葉があります。落葉には未だ早いので、何かの病気かもしれません。収穫まであと一月ですから、なんとか元気に育てて美味しいブドウになって欲しいものです。



7月25日(月) 大変です。ブドウの葉っぱが病気です。

ブドウの葉が落葉し始めている件について、何人かの人に聞いてみました。結論から言うと、どうも「ベト病」という病気のようなのです。6月から7月にかけて長雨が続いたので、それが一因になったようで、今年はベト病が多発しているようです。



善後策として、IC ボルドーという薬を散布することが有効なようなので、農協に相談に行ったついでに薬を買って帰りました。IC ボルドーを散布するにしても、黄色になった葉はもはや仕事をしないので除去したほうが良さそうです。折りしも、果粒軟化期を迎え、副梢を切っても良い時期な

ので、副梢ごと切りました。こうすることで、葉の密度が低くなって風通しが良くなり、IC ボルドーを散布した時に必要な葉に薬が行き届くようになると思います。落とした葉は集めて焼却し、菌の拡散を防ぎます。今日は雨が降って思うように作業できなかったのですが、副梢の切断作業が残ってしまい明日にキャリアオーバーです。

あああ・・・何時になったら九頭竜に遠征できるのでしょうか??!

7月26日(火) 緊急防除

ブドウの葉がベト病にやられているので、これ以上被害を広げないために、緊急に防除を行いました。伸ばした副梢を切ってしまうから防除しようかと思ったりもしましたが、緊急措置なので間髪を入れず即実施することにしました。副梢は後でゆっくり切ればいいのです。

IC ボルドー 66D の 30 倍液を先ず 150 リットル作って広田棚に散布しました。ここで約 120 リットル消費したので追加で 150 リットル作って東棚と坂下棚に散布しました。夕方には纏まった雨が降りましたが薬が効くことを祈るばかりです。

午後からは鮎釣りの仕掛けや掛けバリを作って、九頭竜川遠征に備えました。緊急防除もできたし、やることさえやれば後は運を天に任せるのみなので、さっさと鮎釣りに出かけたいのです。



7月27日(水) ブドウの作業を終えて九頭竜川に GO!

棚全体の風通しが良くなるように、ブドウの副梢を切り戻しました。切った枝や落葉をかき集めてブドウ園の片隅に集めました。

ベト病が出たので急遽 IC ボルドーの散布をしましたが、以前から副梢の整理が完了したら九頭竜川に遠征しようと計画していました。

九頭竜川を訪れるにあたり、お土産として岡山の白桃をブドウを赤磐の Kan ちゃんから仕入れました。折りしも、今日は皇太子殿下が岡山農業大学校を訪問されるということだったので、交通規制の影響に遭遇しないように早めに出かけて 2 時前には赤磐に到着したので、事なきを得ました。



7月28日(木) 九頭竜川遠征初日

遂に今年も九頭竜川にやってきました。先ず森石釣具に行って年券を買って、飯島の服部おとりに行きました。8時過ぎでしたので、既に川に入っている釣り人も何人か見かけました。水位は平水、濁りなしです。

暫くすると、地元の常連の釣り客の方々も来られ、川の状況を聞きました。今年は例年になく天然遡上が少ないようで、釣果は今一つのようなのです。

10時頃1番瀬の中州側に入りました。瀬肩で一つくらいは掛かるかと思いましたがちっとも掛かりません。30m位下ったところで、やっと最初の一尾がかかり慎重に取り込んで初九頭竜鮎をゲットしました。18cm位の並サイズで。暫くして二尾目が掛かり、取り込むとやや大振りでした。11時頃、焼肉ができたというお誘いがあったので川を上がりました。

午後は、中央の吐き出しから三番瀬の左岸側を下って行きました。風が出てきたので、シマノのトリプルフォースの8番を抜いて、代わりに袴を着せた7.7mの竿を試すことにしました。穂先はソリッドに替えていますので、ナンチャンオリジナルのヘンテコな竿になっています。

吐き出しのやや下流では例年通り小振りの鮎がかかりました。吐き出しの下流の瀬では大きいのが来ました。そんな調子で5時頃川から上がりました。今日の釣果は11尾で、大きいのは23cm小さいの13cmでした。



鮎を絞めた後で、大きい鮎の写真を撮ろうとデジカメを取り出すとレンズに曇りがあり、シャッターが押せません。よく見ると防水の蓋が閉まってなくて、水が入ったみたいです。あちゃあつ！！！！やっちまいました。明日、一日天日干しして曇りが取れないか試してみようつもりです。

7月29日(金) 九頭竜川遠征二日目

快晴、濁りなしで水位は平水で昨日よりも5cm位低くなりました。服部おとりで自転車を借りて対岸の三番瀬左岸に行きました。白泡のあたりでオトリ取りをするつもりでしたがちっとも掛からないので、すこし下流に釣り下ると良い型の鮎が掛かりました。噂だと九頭竜は釣れないということらしいのですが、私には例年並みのように思えます。まあ、川で楽しく遊ぶというのがメインテーマなので、オトリをポツポツ繫げれば良いのです。今日の釣果は15尾で、22センチ以上が半分でした。九頭竜には鮎がたくさんいます。浄法寺橋の上から見るとたくさん見えるし、飯島の吐き出しの白泡の上を鮎がピョンピョン跳ねています。

昨日、水が入ったカメラを一日日干しにして乾燥しましたが、電源が入りません。どうも壊れたようです。仕方がないので夕方福井まで行って買ってきました。スマホを持たないブロガーにデジカメは欠かせません。竿が折れたと思えば安いものです。自己責任なので仕方がありません。

7月30日(土) 九頭竜川遠征三日目

今日は土曜日なので、一般ピープルの釣り客が大勢来られるのを横目で見ながらゆっくり寝ていました。昨日の宴会で二日酔い気味です。9時にもなると流石にお日様もガンガンに照って来て暑くなったので川に入る支度を整えると、昨日入った三番瀬の右岸側が空いていたので、「ラッキー！！」とばかりに喜び勇んで入川しました。ところが良いことばかりは無いようで、昨日釣れたのにビリともせず、午前中の釣果はマイナス1でした。

12時には川から上がって、ゆっくり休憩しました。午後2時頃から飯島の堰堤上流左岸側のトホ場で再挑戦しましたが、結果は2尾釣って2尾ロスして±ゼロ。結局マイナス1の釣果でした。トホホです。

釣れても釣れなくても九頭竜川は私にとってパラダイスです。夕方には旧知の鮎友も来て大宴会。楽しい時間を過ごすことができました。



7月31日(日) 九頭竜川遠征四日目

昨夕道〇さんが来られて宴会が盛り上がったので二日酔い気味です。朝飯をゆっくり食べて、仕掛けづくりをして9時前に川に入りました。

昨日マイナス1だったので、新しくオトリを買ってリスタートしました。今日もマイナスになるような遠征の打ち切り覚悟して、慎重に最初の一尾を確保するようにしました。昨日よりも水位が下がって、川を渡り易くなっています。先に川に入った福〇さんの釣りをしていると、三番瀬の吹き出しあたりで結構釣れています。あそこは釣り荒れすることはありません。風が弱かったので、11mの竿(DAIWA NERAI)を持って、福〇さんの後に入りました。オトリに負担をかけないために錘なしで、やったところ流石に11mの竿。簡単に流心の向こうの淀みにオトリが入って行きました。シメシメと思っていると、ガツンとあたりがあって、最初の一尾をゲットできました。なかなかの良型です。

その後、立て続けに何尾かゲットしました。バラしてしまった時には服部オトリの方から拍手がを浴びました。良いことは長続きしません。そのうちに風が強くなってきたので、竿を持つのが苦痛になったので、竿を交換するために川から上がりました。昼までに6尾の釣果でした。

午後からはかなり風が強くなり10m/s ブローが時折入り川面にさざ波が立ち、釣り人も少ない状況でした。7.7mの短竿を持って浄法寺橋上流のトロ場に行きました。ずっと上流に釣り人が一人居るだけでした。ポツポツと3尾掛けたところで、藤〇さんがやって来て馬の背を渡って行きました。このときからちっとも釣れなくなり、2時間ほどアタリがなく5時前になったので、川から上がりました。

本日は釣果は合計9尾、20~23cmの良型ばかりでした。

